



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 藤田 茂樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営管理本部長 (氏名) 道嶋 仁

TEL 045-897-2425

四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	22,570	1.6	959	62.6	868	56.2	689	61.5
29年3月期第2四半期	22,214	1.3	589	21.0	556	14.7	427	27.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 852百万円 (93.2%) 29年3月期第2四半期 441百万円 (0.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	13.96	
29年3月期第2四半期	8.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	57,583	17,187	29.8	347.94
29年3月期	53,721	16,533	30.8	334.67

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 17,187百万円 29年3月期 16,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		4.00	4.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,500	13.5	2,000	33.3	1,800	59.0	1,200	28.9	24.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	51,926,194 株	29年3月期	51,926,194 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	2,526,445 株	29年3月期	2,525,499 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	49,400,170 株	29年3月期2Q	49,402,476 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般について

当第2四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、FPD (Flat Panel Display) 業界については、引き続きTVとスマートフォンの需要増を背景に、大型パネル向け投資は中国を中心に設備投資が続き、中小型パネル向け投資はOLED (有機EL) 向けの設備投資が続きました。

半導体業界については、ファウンドリーの設備投資がやや停滞気味でしたが、メモリー向けを中心に積極的な設備投資が継続され、OSAT (後工程受託メーカー) での投資も継続しました。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は25,581百万円 (前年同期比32.9%増) となり、好調に推移しました。

売上高は22,570百万円 (前年同期比1.6%増)、営業利益は959百万円 (前年同期比62.6%増)、経常利益は868百万円 (前年同期比56.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は689百万円 (前年同期比61.5%増) となり、増収、増益となりました。

②セグメントの業績について

主な事業セグメントの業績は次のとおりです。

(ファインメカトロニクス部門)

FPD前工程は、大型パネル向け装置の受注が増加し、中小型パネル向け装置もOLED向けを中心に堅調に推移し、受注は増加しました。売上は、前年度上期の受注減少の影響が残り、減少しました。

半導体前工程は、受注はファウンドリー向けが顧客の設備投資計画の変更などにより減少しましたが、中国メーカー向けが増加し、堅調に推移しました。売上は、ファウンドリー向けの受注減少の影響により、減少しました。

部門全体では受注は増加し、売上は減少しました。セグメント利益は経営体質の強化が進展し、増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は11,823百万円 (前年同期比18.5%減)、セグメント利益は253百万円 (前年同期比93.5%増) となりました。

(メカトロニクスシステム部門)

FPD後工程は、大型パネル向け装置を中心に受注が好調に推移し、受注、売上ともに大幅に増加しました。

半導体後工程は、スマートフォン部品向け装置を中心に受注、売上ともに増加しました。

真空応用装置は、顧客設備投資計画の変更などにより受注は減少しました。売上は、電子部品関連、車載関連装置を中心に増加しました。

部門全体では受注、売上ともに増加しました。セグメント利益は売上増加により、大幅に増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は8,677百万円 (前年同期比51.4%増)、セグメント利益は618百万円 (前年同期比111.7%増) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,862百万円増加し57,583百万円となりました。これは主に、現金及び預金、売掛金が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,207百万円増加し40,395百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ654百万円増加し17,187百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益689百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ1,729百万円増加し13,208百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は2,216百万円（前年同期は2,330百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上及び仕入債務の増加等により資金が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は266百万円（前年同期は260百万円の減少）となりました。これは主に、固定資産の取得等により資金が減少したことによるものです。

なお、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは、1,950百万円の増加（前年同期は2,069百万円の増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は220百万円（前年同期は656百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払い等により資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績につきましては、平成29年5月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,493	13,223
受取手形及び売掛金	23,834	26,532
電子記録債権	623	484
商品及び製品	897	1,024
仕掛品	2,477	2,324
原材料及び貯蔵品	212	224
繰延税金資産	536	529
未収入金	926	746
その他	601	682
貸倒引当金	△10	△108
流動資産合計	41,591	45,664
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,505	28,554
減価償却累計額	△19,543	△19,700
建物及び構築物(純額)	8,962	8,854
機械装置及び運搬具	4,385	4,254
減価償却累計額	△3,538	△3,494
機械装置及び運搬具(純額)	847	760
工具、器具及び備品	765	812
減価償却累計額	△583	△632
工具、器具及び備品(純額)	181	180
土地	119	119
リース資産	354	362
減価償却累計額	△298	△316
リース資産(純額)	55	46
建設仮勘定	624	527
有形固定資産合計	10,790	10,487
無形固定資産		
特許権	325	316
その他	275	377
無形固定資産合計	600	693
投資その他の資産		
投資有価証券	121	123
長期前払費用	5	5
繰延税金資産	247	229
その他	366	380
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	739	738
固定資産合計	12,129	11,919
資産合計	53,721	57,583

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,972	13,148
短期借入金	5,100	5,100
1年内返済予定の長期借入金	800	—
リース債務	37	30
未払法人税等	304	232
未払費用	2,908	3,243
前受金	604	685
役員賞与引当金	32	16
その他	853	576
流動負債合計	20,615	23,032
固定負債		
長期借入金	5,700	6,500
リース債務	24	19
長期未払金	2	2
退職給付に係る負債	7,403	7,404
役員退職慰労引当金	9	11
修繕引当金	319	310
資産除去債務	35	35
長期預り保証金	3,078	3,078
固定負債合計	16,573	17,362
負債合計	37,188	40,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,107	9,037
利益剰余金	3,715	4,207
自己株式	△1,723	△1,653
株主資本合計	17,861	18,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	30
為替換算調整勘定	286	297
退職給付に係る調整累計額	△1,643	△1,492
その他の包括利益累計額合計	△1,328	△1,165
純資産合計	16,533	17,187
負債純資産合計	53,721	57,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	22,214	22,570
売上原価	17,103	16,515
売上総利益	5,110	6,055
販売費及び一般管理費	4,520	5,096
営業利益	589	959
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	0	0
為替差益	—	9
デリバティブ評価益	248	—
その他	18	20
営業外収益合計	269	32
営業外費用		
支払利息	67	65
為替差損	184	—
デリバティブ評価損	—	26
その他	50	30
営業外費用合計	302	122
経常利益	556	868
税金等調整前四半期純利益	556	868
法人税、住民税及び事業税	140	154
法人税等調整額	△11	24
法人税等合計	129	179
四半期純利益	427	689
親会社株主に帰属する四半期純利益	427	689

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	427	689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	1
為替換算調整勘定	△143	10
退職給付に係る調整額	160	150
その他の包括利益合計	14	162
四半期包括利益	441	852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	441	852

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	556	868
減価償却費	767	631
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	97
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	84	151
受取利息及び受取配当金	△3	△2
支払利息	67	65
為替差損益 (△は益)	△16	3
前受金の増減額 (△は減少)	△537	83
売上債権の増減額 (△は増加)	1,951	△2,554
たな卸資産の増減額 (△は増加)	179	△123
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,085	3,278
その他	599	△23
小計	2,565	2,476
利息及び配当金の受取額	3	2
利息の支払額	△67	△65
法人税等の支払額	△170	△196
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,330	2,216
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	0	—
有形固定資産の取得による支出	△92	△74
有形固定資産の売却による収入	2	1
その他	△170	△193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△260	△266
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△440	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△18	△22
長期借入れによる収入	—	800
長期借入金の返済による支出	—	△800
配当金の支払額	△197	△197
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△656	△220
現金及び現金同等物に係る換算差額	△195	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,218	1,729
現金及び現金同等物の期首残高	7,012	11,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,230	13,208

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	14,503	5,729	943	1,037	22,214
セグメント間の内部売上高又は振替高	25	77	0	—	103
計	14,529	5,807	944	1,037	22,318
セグメント利益	131	291	34	302	759

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	759
全社費用(注)	△208
その他	5
四半期連結損益計算書の経常利益	556

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	11,823	8,677	1,051	1,018	22,570
セグメント間の内部売上高又は振替高	22	60	0	—	82
計	11,845	8,737	1,051	1,018	22,652
セグメント利益	253	618	50	277	1,199

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,199
全社費用(注)	△260
その他	△70
四半期連結損益計算書の経常利益	868

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。